

科目名	公務員への道 II	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			全学科	□必修	■選択
			学科	□必修	■選択
英語表記	Your Way to be Government Officials II	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
		開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中		
ふりがな	いしかわ たけいち	実務家教員担当科目	○	修得単位	4単位
担当者名	石川 竹一	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	ロシアのウクライナへの侵略とウクライナ国民の殺戮、イスラエルのパレスチナ住民殺戮は、各国の公務員という職業の本質と社会における公務員の機能を鮮明に表している。各国は国力と国を取り巻く環境に即した防衛力を備え、外交により平和を守り、この土台の上で、産業を振興し、科学技術を発展させ、福祉を増進し、安定した社会を維持している。この枠組みを維持するために、公務員選抜の仕組みがある。				
到達目標	公務員という職業と機能を理解し、社会と公務員と自己との関連を認識し、自己啓発への道を開発する。				
授業概要	公務員養成の科学の全てを深く掘り下げ、学生自身の自己体験を通して理解する。「公務員への道 I」履修済学生を継続的に鍛錬し「公務員養成論」へ繋げるために、具体的な学習を本格化し、習慣づける。公務員試験に合格する実力を涵養すれば、民間上場企業総合職試験合格にも繋がる。就職試験の標準たる公務員試験学習を行うことは、民間上場企業総合職試験合格の近道である。				
授業計画					
第1回	イントロダクション、練習問題		第17回	練習問題	
第2回	そもそも公務員とは① 公務員としての働き甲斐、練習問題		第18回	いろいろな国家公務員【人事院実施枠】③ 税務職員(1)、練習問題	
第3回	そもそも公務員とは② M.ヴェーバーの官僚制論、練習問題		第19回	いろいろな国家公務員【人事院実施枠】③ 税務職員(2) 過去問(教養・専門) 演習	
第4回	そもそも公務員とは③M.ヴェーバー以後の官僚制論(マートンなど)、練習問題		第20回	いろいろな国家公務員【人事院実施枠】④ 海上保安庁・気象庁(1)、練習問題	
第5回	いろいろな国家公務員【独自採用枠】① 外務省専門職(1)、練習問題		第21回	いろいろな国家公務員【人事院実施枠】④ 海上保安庁・気象庁(2) 過去問(教養・専門) 演習	
第6回	いろいろな国家公務員【独自採用枠】① 外務省専門職(2) 過去問(教養・専門) 演習		第22回	いろいろな国家公務員【防衛省採用枠】 自衛隊：一般曹候補生～幹部候補生(1)、練習問題	
第7回	いろいろな国家公務員【独自採用枠】② 国会職員(1)、練習問題		第23回	いろいろな国家公務員【防衛省採用枠】 自衛隊：一般曹候補生～幹部候補生(2)過去問演習	
第8回	いろいろな国家公務員【独自採用枠】② 国会職員(2) 過去問(教養・専門) 演習		第24回	いろいろな地方公務員① 都道府県庁職員、練習問題	
第9回	いろいろな国家公務員【独自採用枠】③ 裁判所職員(1)、練習問題		第25回	いろいろな地方公務員② 市役所職員・町村役場職員、練習問題	
第10回	いろいろな国家公務員【独自採用枠】③ 裁判所職員(2) 過去問(教養・専門) 演習		第26回	いろいろな地方公務員③ 警察官、練習問題	
第11回	いろいろな国家公務員【人事院実施枠】① 刑務官(1)、練習問題		第27回	いろいろな地方公務員④ 消防官、練習問題	
第12回	いろいろな国家公務員【人事院実施枠】① 刑務官(2) 過去問(教養・専門) 演習		第28回	採用試験突破勉強法の実践① 教養科目編、練習問題	
第13回	いろいろな国家公務員【人事院実施枠】② 入国警備官(1)、練習問題		第29回	採用試験突破勉強法の実践② 専門科目編、練習問題	

第14回	いろいろな国家公務員【人事院実施枠】② 入国警備官(2) 過去問 (教養・専門) 演習	第30回	採用試験突破勉強法の実践③ 論文編、練習問題
第15回	前期まとめ/夏期の過ごし方、練習問題	第31回	まとめ：公務員になる為に「繋ぐ、詰める、尽くす、練習問題」
第16回	練習問題	第32回	試験
授業時間外の学習	総合科目群の数的推理、判断推理、基礎数学を受講し、良い成績を取ることが公務員試験合格には必要。英語 I II III、自然科学概論、文章の読み方、小論文の書き方も有効、経済学部の学生にとっては、学科間履修により、憲法・行政法・民法・社会政策・政治学・行政学を受講が公務員試験対策としては有効であり、法学部学生にとっては、マクロ経済学・ミクロ経済学を受講が有効である。数学 I A・数学 IIB・理科・社会科教科書、基礎英文法問題精講 (中原道喜)、数的処理 1・2 (畑中敦子)、判断推理 (畑中敦子)、入門経済学 (井堀利宏)、現代法学入門 (伊藤正巳・加藤一郎)		
履修条件受講のルール	毎週学習実績表提出。授業中の私語は論外。授業終了時練習問題解答自己採点提出。		
テキスト	授業中に公務員試験過去問を解いて、自己採点して、授業の最後に提出		
参考文献・資料	全ての公務員試験過去問		
成績評価の方法	週間レポート提出60%、戦略ノート10%、授業討議10%、試験10%、平常点10% ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることはできない。		
オフィスアワー	木曜日 11時-12時30分、13時-14時30分		
成績評価の基準	秀 (100~90点)、優 (89~80点)、良 (79~70点)、可 (69~60点)、不可 (59点以下)		
実務経験及び実務を活かした授業内容	国家公務員 15年間勤務後、国際公務員として国連条約機関本部に26年間勤務(12年間は事務次長)、数々の国際選挙・世界各国との政府間交渉・国際会議運営・国際機関の人事・管理・条約交渉などに従事。国家及び国際公務員試験 (学力試験・論文試験・面接) の試験担当者。		
学生へのメッセージ	ノースアジア大学生のみが受講のチャンスがある門外不出の公務員への道。パートII。図書館学習の重要性。		